

〈事業報告〉

I 事業状況

1. 日独学術文化に関する研究並びにその助成（定款第4条第1項第1号）

〈第27回公開シンポジウムの開催〉

（1）開催日と場所：

平成29年12月3日（日）京都大学吉田キャンパス 法経本館 法経第7教室

（2）参加者： 約70名

（3）テーマ： 連続テーマ「文明」の1回目として「文明の起点。宇宙進化と生物進化の視野からの提言」。

（4）基調講演：

- ・松井孝典氏（東京大学名誉教授、千葉工業大学惑星探査研究センター所長）：
「文明は見えない世界がつくる」
- ・湯本貴和氏（京都大学教授、京都大学霊長類研究所所長）：
「ヒトは生態系の破壊者か創造者か」
- ・コメンテーター：山極壽一氏（京都大学総長）

参加者からの質疑等もあり、活発な討論が展開された。

2. 日独学術文化に関する図書雑誌の編集及び出版刊行（定款第4条第1項第2号）

〈年報の刊行 平成29年度年報『文明と哲学』第10号〉

（1）刊行月・出版社： 平成30年3月、こぶし書房

（2）編集代表： 谷徹理事

（3）内容：

[特集 コンパシオンと言語・文化]

【論考 I】

- ・大橋良介「コンパシオン（悲）の現象論・（5）世阿弥の「離見の見」と「共同感」（Gemeingefühl）」
- ・谷徹「文明・文化と「零」」
- ・西川伸一「言語誕生のマイスタージンガーモデル」
- ・安部浩「「私」の探究——私小説私論」
- ・水野友晴「鈴木大拙「日本的靈性」の可能性」

- ・関口浩「しじまの響きに耳を澄ます——武満徹とハイデッガー」

【対談】

- ・古部賢一×和田信「演奏における間主観性とゲシュタルトクライス—感覚と行為の一体性」

【論考Ⅱ】

- ・秋富克哉「哲学の家郷——西田とハイデッガーの哲学的対話に向けて（四）」
- ・長岡徹郎「西谷啓治における宗教哲学の展開——宗教と哲学とを問い直す視座の追求」
- ・稲田知己「ヘルダーリンは蘇るか——ヘリングラート、ベンヤミン、そしてハイデッガー」
- ・高田篤「イエッシュによるケルゼンの受容と批判の検討」
- ・高山佳奈子「医学研究規制における人と動物の区別」
- ・北村幸也「現代ドイツの「密かな革命」？——法解釈方法論の憲法的意義をめぐって」
- ・小川暁夫「ドイツ語研究の意義を問い直す——機能類型論からの視点」

【公開シンポジウム「ことば」】

- ・長谷川郁夫「言葉の襞Ⅰ」
- ・中沢けい「言葉の襞Ⅱ」

【学術交流講演】

- ・フェリクス・ハイデンライヒ（小田切建太郎・訳）「〈思索する〉と〈建築する〉——構築、脱構築、再構築」

3. 日独学術文化に関する講習会、講演会及び談話会等の開催（定款第4条第1項第3号）

〈哲学講座「初夏講座」〉

（1）開催日と場所：

第1回：平成29年6月20日（火）

第2回： 同6月27日（火）

第3回： 同7月4日（火）

第4回： 同7月11日（火）

第5回： 同7月18日（火）

第6回： 同7月25日（火）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

(2) 受講者： 23名（学生・院生・OD8名、一般15名）

(3) 講師： 丸橋裕氏（兵庫県立大学教授）

(4) テーマ： 「プラトン哲学の諸相」

〈哲学講座「中秋講座」〉

(1) 開催日と場所：

第1回： 平成29年10月10日（火）

第2回： 同10月17日（火）

第3回： 同10月31日（火）

第4回： 同11月7日（火）

第5回： 同11月28日（火）

第6回： 同12月5日（火）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

(2) 受講者： 23名（学生・院生・OD6名、一般17名）

(3) 講師： 吉岡洋氏（京都大学特定教授）

(4) テーマ： 「美と芸術の哲学——プラトンから現代アートまで——」

〈哲学講座「初春講座」〉

(1) 開催日と場所：

第1回： 平成30年2月1日（木）

第2回： 同2月8日（木）

第3回： 同2月15日（木）

第4回： 同3月1日（木）

第5回： 同3月8日（木）

第6回： 同3月15日（木）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

- (2) 受講者： 17名（学生・院生・OD 6名、一般 11名）
- (3) 講師： 片柳榮一氏（京都大学名誉教授・聖学院大学大学院客員教授）
- (4) テーマ： 「キリスト教的生の可能性——その歴史を通して——」

4. 日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開（定款第4条第1項第4号）
〈所報の発行〉

- (1) 刊行年月： 平成29年12月（第6号）
- (2) 内容： 本法人の活動内容や事業報告を、一般の人々にもわかりやすいようにとりまとめ、賛助会員をはじめ、事業参加者などに配布。
また、平成30年4月以降、本法人ホームページでも公開。
本法人の活動を広く知らせるために、今後も年1回刊行予定。

5. 日独学術文化に関する研究者の招待、派遣及び交換（定款第4条第1項第5号）
国内の学会、大学と連携して、主にドイツから学者を招へいし、講演会等を開催した。

〈GIP（Die Gesellschaft für Interkulturelle Philosophie）フォーラム〉

- (1) 開催日と場所： 平成29年7月19日（水）
ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 大ホール
- (2) 提題者： アンナ・チャウアー氏（東京大学）、モニカ・キルロスカール＝シュタインバッハ氏（コンスタンツ大学）、エンリコ・フォンガロ氏（東北大学）、マルチェッロ・ギラルディ氏（パドヴァ大学）、轟孝夫氏（防衛大学校）、長谷川琢哉氏（親鸞仏教センター）、黒岡佳柁氏（福州大学・立命館大学）、田邊正俊氏（日独文化研究所・立命館大学）
- (3) レスポンデント： ゲオルク・シュテングラー氏（ウィーン大学）、アントニオ・フロレンティーノ氏（カンピナス大学）、遊佐道子氏（西ワシントン大学）、高橋正義氏（元・立命館大学）
- (3) テーマ： 「間文化的に考える——ドイツ・インド・イタリア・ブラジル・日本の視点から——」
- (4) 参加者： 30名

〈フェリクス・ハイデンライヒ氏講演会〉

- (1) 開催日と場所： 平成29年10月4日（水）

立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館第三会議室

平成 29 年 10 月 5 日（木）

京都産業大学第 2 研究棟第 1 会議室

- (2) 講師： フェリクス・ハイデンライヒ氏（ドイツ・シュトゥットガルト大学）
- (3) テーマ： 「〈思索する〉と〈建築する〉——構築・脱構築・再構築——」（10 月 4 日）
「意味の指示性の扱い方——ブルーメンベルクと道元——」（10 月 5 日）
- (4) 参加者： 両日とも約 25 名
- (5) 共催： 立命館大学間文化現象学研究センター（10 月 4 日）
京都産業大学世界問題研究所（10 月 5 日）

〈ニルス・ヴァイトマン氏講演会〉

- (1) 開催日と場所： 平成 30 年 2 月 27 日（火）
京都大学吉田キャンパス大学院人間・環境学研究科棟 433 室
平成 30 年 2 月 28 日（水）
立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館第三会議室
- (2) 講師： ニルス・ヴァイトマン氏（テュービンゲン大学学術フォーラム所長）
- (3) テーマ： 「マルティン・ハイデッガーとハインリヒ・ロムバッハにおける意味と存在（有）との関係」（2 月 27 日）
「根本諸経験の哲学としての間文化哲学」（2 月 28 日）
- (4) 参加者： 19 名（2 月 27 日）／13 名（2 月 28 日）
- (5) 共催： 京都大学大学院人間・環境学研究科（2 月 27 日）
立命館大学間文化現象学研究センター（2 月 28 日）

〈ティルマン=レプゲン氏講演会〉

- (1) 開催日と場所： 平成 30 年 3 月 11 日（日）
京都大学吉田キャンパス 法経本館 1 階西側 法経第 11 教室
- (2) 講師： ティルマン=レプゲン氏（ハンブルク大学教授）
- (3) テーマ： 「BGB 280 条 1 項 2 段における過失推定の射程」
- (4) 参加者： 20 名
- (5) 共催： 京都大学大学院法学研究科、日独法学会

(6) 研究交流助成事業として、若手研究者 1 名の参加旅費を助成した。

● 事業別の事業実績のまとめ (単位：円)

											(単位:円)
定款第4条	事業内容	給与	福利厚生	諸謝金	会議費	旅費交通費	通信費	消耗品	印刷製本	支払手数料	計
研究並びにその助成	公開シンポジウム	-	-	222,740	31,940	25,600	26,314	598	89,031	324	396,547
	年報	-	-	-	-	-	35,016	-	1,939,539	1,836	1,976,391
編集及び出版刊行	シンポジウム成果	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	哲学講座	-	-	501,168	-	-	95,256	-	196,020	-	792,444
講習会・講演会等	哲学講座	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
資料の収集公開配布	所報	-	-	-	-	-	-	-	62,316	-	62,316
研究者の招待・派遣等	学術交流	-	-	900,000	29,306	80,527	850	535	-	540	1,011,758
職員人件費他		2,656,682	336,223	-	-	98,287	166,905	65,658	-	-	3,323,755
合計		2,656,682	336,223	1,623,908	61,246	204,414	324,341	66,791	2,286,906	2,700	7,563,211

II 登記、届出、報告事項等

1. 平成 29 年 6 月 22 日 内閣府に事業報告等に係る提出書を提出。
2. 平成 29 年 6 月 22 日 役員の異動について登記を行う (安部浩氏の評議員就任)。
3. 平成 29 年 7 月 12 日 内閣府に変更届出書を提出 (安部浩氏の評議員就任)。
4. 平成 30 年 3 月 22 日 内閣府に事業計画等に係る提出書を提出。

III 職務の概要

1. 役員の異動

(1) 評議員の新任 安部 浩 氏 (平成 29 年 6 月 21 日付)

2. 理事・監事に関する事項 平成 29 年度 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

理事定数 6 名以上 8 名以内 現在 非常勤 6 名 任期 2 年
 監事定数 2 名以内 現在 非常勤 2 名 任期 2 年

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
理事 (理事長(代表理事))	秋富 克哉	非常勤	理事就任： H26. 4. 1 代表理事就任： H28. 7. 4	H28. 6. 22	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科教授
理事 (所長(代表理事))	大橋 良介	非常勤	理事就任： H26. 4. 1 代表理事就任： H27. 10. 16	H28. 6. 22 代表理事再任： H28. 7. 4	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	本研究所所長 (代表理事)
理事 (常務理事)	高田 篤	非常勤	H26. 4. 1	H28. 6. 22	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	大阪大学大学院法学研究 科教授
理事	小川 暁夫	非常勤	H26. 4. 1	H28. 6. 22	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	関西学院大学文学部教授
理事	谷 徹	非常勤	H26. 4. 1	H28. 6. 22	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	立命館大学文学部教授
理事	和田 信	非常勤	H28. 6. 22	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	大阪国際がんセンター心 療・緩和科部長
監事	高山佳奈子	非常勤	H26. 4. 1	H28. 6. 22	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学大学院法学研究 科教授
監事	津野紀代志	非常勤	H28. 10. 10	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	公認会計士

*役員は無給（定款第28条）

3. 評議員に関する事項 平成29年度（平成30年3月31日現在）

評議員定数 6名以上8名以内 現在 非常勤 7名 任期4年

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
評議員	安部 浩	非常勤	H29. 6. 21	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学大学院人間・環境学研究科教授
評議員	阿部 光幸	非常勤	H26. 4. 1	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授 兵庫県立粒子線医療センター名誉顧問
評議員	木村 敏	非常勤	H26. 4. 1	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授 河合文化教育研究所所長
評議員	初宿 正典	非常勤	H26. 4. 1	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授
評議員	西川 伸一	非常勤	H28.10.10	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	NPO法人オール・アバウト・サイエンス・ジャパン代表理事
評議員	松丸 壽雄	非常勤	H26. 4. 1	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	獨協大学名誉教授
評議員	森 哲郎	非常勤	H26. 4. 1	—	平成29年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都産業大学文化学部教授

*評議員は無給（定款第13条）

4. 顧問・名誉顧問に関する事項 平成29年度（平成30年3月31日現在）

顧問・名誉顧問 現在 非常勤 4名

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
名誉顧問	千 玄室	非常勤	H29. 4. 14	—		裏千家大宗匠
名誉顧問	ヘルムート・シュヴァルツ	非常勤	H29. 4. 14	—		アレクサンダー・フォン・フンボルト財団総長
名誉顧問	堀場 厚	非常勤	H29. 4. 14	—		株式会社堀場製作所代表取締役会長兼グループCEO
名誉顧問	山極 壽一	非常勤	H28. 10. 10	—		京都大学総長

*顧問・名誉顧問は無給（定款第41条）

*名誉顧問については、任期の定めなし。

5. 研究員に関する事項 平成29年度（平成30年3月31日現在）

研究員 現在 非常勤 1名 任期1年

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	採用年月日	任期	備考
研究員	関口 浩	非常勤	H29. 6. 5	H30. 3. 31まで	

*研究員は無給（研究員規程第10条）

6. 職員に関する事項

職名	氏名	就職年月日	担当事務	備考
事務局長	水野 友晴	H26. 3. 25	事務総括	
事務局員	田邊 正俊	H27. 4. 1	事務補助	

7. 認可、許可、承認等に関する事項

特になし

8. 契約に関する事項

特になし

9. 賛助会員年会費、寄附金に関する事項

総件数	40件	総金額	438,500円
(内訳)			
賛助会員年会費	(法人) 15件		300,000円
	(個人) 24件		118,500円
寄附金	(法人) 0件		0円
	(個人) 1件		20,000円

IV 役員会に関する事項

区分	開催年月日	議事事項	会議の結果
理事会 (第18回)	平成29年4月11日	1. 千玄室氏を名誉顧問に選任する件 2. 堀場厚氏を名誉顧問に選任する件 3. ヘルムート・シュヴァルツ氏を名誉顧問に選任する件 4. 臨時評議員会を招集する件	可決 可決 可決 可決
評議員会 (第8回)	平成29年4月21日	1. 千玄室氏を名誉顧問に選任する件 2. 堀場厚氏を名誉顧問に選任する件 3. ヘルムート・シュヴァルツ氏を名誉顧問に選任する件	可決 可決 可決
理事会 (第19回)	平成29年6月5日	1. 平成28年度事業報告及び決算書類を承認する件 2. 平成29年度事業実施について相談する件 3. 特定資産「学術文化振興基金」の全額取崩しを承認する件 4. 基本財産の一部取崩しを承認する件 5. 平成29年度の研究員の採用の件 6. ハノーヴァー哲学研究所との交流協定延長の確認の件 7. いざなみ監査法人との外部任意監査の契約を更新する件 8. 定時評議員会を招集する件 報告事項1. 理事長及び所長の職務の執行状況についての報告 報告事項2. 資金移動についての報告 報告事項3. 名誉顧問の打診についての報告 報告事項4. 賛助会員の推移についての報告	可決 可決 可決 (特別決議) 可決 (特別決議) 可決 可決 可決 可決
評議員会 (第9回)	平成29年6月21日	1. 平成28年度の事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録を承認する件 2. 特定資産「学術文化振興基金」の全額取崩しを承認する件 3. 基本財産の一部取崩しを承認する件 4. 平成28年9月30日に評議員を辞任した三澤廣人氏の補欠として安部浩氏を評議員に選任すること	可決 可決 (特別決議) 可決 (特別決議) 可決

理事会 (第20回)	平成 29 年 10 月 12 日	1. 松丸壽雄評議員の研究機関として公益財団法人日独文化研究所を登録する作業を府省共通研究開発管理システム (e-Rad) 上で行うことを承認決定する件	可決
理事会 (第 21 回)	平成 30 年 3 月 2 日	<p>1. 平成 29 年度補正事業計画案及び補正予算案等を承認決定する件</p> <p>2. 平成 30 年度事業計画案及び予算案等を承認決定する件</p> <p>3. 平成 30 年度に基本財産最大 1,000 万円を取崩して、公益目的事業及び法人管理のための資金に充当することを承認決定する件。ただし、評議員会の承認を得ることを条件とする。</p> <p>4. 公開シンポジウム「文明」成果報告集の発行 (5 年に 1 回、刊行費用 100 万円) の支出に備えるため、平成 33 年度までの 4 年間、毎年 25 万円を積立し、平成 34 年度に取崩す特定費用準備資金を設定する件。</p> <p>5. 規程の承認決定を行う件 〈新規に策定する規程〉 ・公益財団法人日独文化研究所 年報内規</p> <p>6. 平成 30 年度における研究員の採用計画を協議する件</p> <p>7. 事務局長との契約を更新する件</p> <p>8. 事務局員との契約を更新する件</p> <p>9. ソーシャルネットワーキングサービスの利用について協議する件</p> <p>報告事項 1. 理事長及び所長の職務の執行状況についての報告</p> <p>報告事項 2. 特定資産「学術文化振興基金」全額取崩し、及び基本財産の一部取崩しの報告</p> <p>報告事項 3. 次年度公開シンポジウム提題者及び日程の相談</p> <p>報告事項 4. 内閣府立ち入り検査(平成 29 年 11 月 21 日)の報告</p> <p>報告事項 5. 公益通報 1 件に対する対処の報告</p> <p>報告事項 6. 賛助会員の入退会状況の報告</p> <p>報告事項 7. 今後の日独文化研究所のあり方についての若干の報告</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決 (特別決議)</p> <p>可決</p> <p>一部修正 のうえ可 決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>一部修正 のうえ可 決</p> <p>可決</p>

V 事業報告の付属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないため、付属明細書は作成を省略する。